



Italia / Birds by Toikka  
 部屋のアクセサリー  
 オイバ・トイッカの  
 ガラスバード

Birds by Toikka は、1972年から生産され続けるフィンランド製のガラスバード、オイバ・トイッカ（1931-2019）が長い年月をかけて作りあげた巨大な作品群です。オイバはよく「俺はバードマンじゃない。」と言っていましたけれど、こんなに特殊で膨大なガラスバードの世界を作ってしまったのですから、やはりオイバはバードマンだと思います。昔はスウェーデンやドイツのガラス工場、今はイタリアガラス工場にて熟練したガラス職人の手により生産されています。そして、このガラスバードの面白いところは個体差です。ガラス職人各々に癖があり、そんな職人が複数人でチームとなっていくつづつ作り上げていく物ですから実に激しい個体差が生まれます。だからスコープでは好きな個体を選べるよう、全てを撮影して1個1個販売しています。非常に高価な物ですから、スコープを始めたばかりの頃は自分が買うなんて想像もできなかったし、スコープで取り扱うなんて思いもしなかったんです。でも、実物を見る機会に何度も恵まれ、オイバ・トイッカに会うことができ、初めて1つのバードを購入してすぐ、たまたまフィンランドでビンテージバードのコレクターと知り合い、そのコレクションを全て購入する流れになってから僕の人生はバードに染まっています。定番バードをスコープで取り扱うだけでなく、オイバ・トイッカと一緒にスコープバードを作ることまで始めてしまい、気付けばスコープの中心にある特別なアイテム群となっていました。知らない人は、何に使おうとすかと聞くのですけれど、部屋に飾るんです。部屋を飾るアートガラス、綺麗な自分の空間を作るために飾ります。絵を飾るより気軽に世界中に多くのコレクターがいるので必要なくなれば買ってくれる人はいれると思います。そして今は買っても気づけば生産終了していて、買っておけば良かったなあって、よく思い返す物もあります。それがまた楽しいのです。

